

小津次郎, 『日本シェイクスピア総覧』に寄せて, p. 12  
高橋康也, 『日本シェイクスピア総覧 2』への序文, p. 13  
はじめに, pp. 15-16

I シェイクスピア研究編, pp. 17-174

1 単行本

2 雑誌

i 『英語青年』

ii 『英文学研究』

iii *Shakespeare Studies*

iv *Shakespeare Worldwide*

v 『シェイクスピアリアーナ』

vi 『the Globe』

vii *The Renaissance Bulletin*

viii *Shakespeare News from Japan*

II シェイクスピア・テキスト訳注編, pp. 175-176

III シェイクスピア物語・小説・翻案編, pp. 177-182

IV シェイクスピア物語・小説・訳注編, pp. 183-185

V シェイクスピア翻訳編, pp. 187-215

VI シェイクスピア劇上演年表編, pp. 217-267

VII 映像のシェイクスピア, pp. 269-327

索引, pp. 329-372

\*平成1年～平成5年分の資料。

## 概要

本書は『日本シェイクスピア総覧』(平成2年4月、エルピス)の続編で、扱った文献は、平成1年～平成5年分。全体に渡る編集と資料の蒐集を行った。単なる書籍の書誌にとどまることなく、時代の変化をとらえて、新しい項目として「映像のシェイクスピア」を設け、テレビ放送や映画、ビデオ、レーザー・ディスクなどの資料を集めて本格的にリスト・アップした。この結果、シェイクスピア書誌は単なる研究書だけのものではなく、時代を反映して、「シェイクスピア映画」から「シェイクスピア映像」へと大きく変わっていくことになる。さらに、今後はシェイクスピア情報といった内容になることを示唆した。372頁(A5)

社会的評価としては、「KURITA カンパニー・りゅーとびあ公演『テンペスト』を観る方、観た方」(県立新潟女子短期大学図書館所蔵の関連資料)として取り上げられる。(インターネットで公開) / 佐野昭子「日本における『ロミオとジュリエット』」(『帝京大学文学部紀要一米英言語文化』第37号、2006年度)で引用される。